

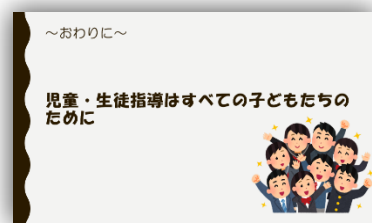
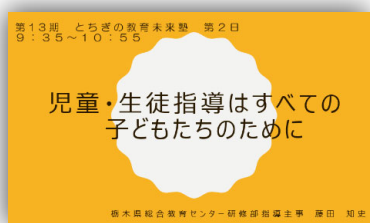
令和4（2022）年度 第13期 とちぎの教育未来塾

第2日〔令和4（2022）年10月29日（土）〕

第13期生 102名



講話・研究協議「児童・生徒指導はすべての子どもたちのために（小・中）」
栃木県総合教育センター研修部指導主事 藤田 知史



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ 生徒を信頼しようとする教師の姿勢が、とても大切であると改めて実感しました。生徒一人一人には、様々な個性があり、その個性を大切にしながらも生徒をより成長させられるような指導を、たくさんの先生方と協力しながら行っていきたいと思いました。

【学生等】

- ◆ 児童生徒を理解するための取り組みについて、グループで意見を共有したことによって、全員が重要だと考えていることや、新たな視点に気付くことができました。また、信頼関係を築くためには、教師の生徒観察が非常に重要であることなども現職の先生から教えていただきました。この講座を通して、児童・生徒指導の重要性について、学ぶことができました。

講話・研究協議「生徒指導はすべての子どもたちのために（高・特）」
栃木県総合教育センター研修部指導主事 釜屋 陽子



受講後の振り返りから

【現職】

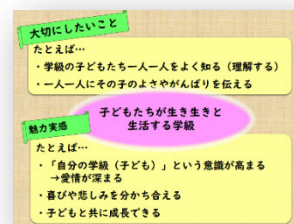
- ◆ 生徒指導を行う上で、生徒の成長を支えるという思いが大切だと実感しました。生徒の言動に対して、一方的に指導するのではなく、その背景にあるものや生徒の気持ちを理解した上で、指導していくことが大切であると改めて思いました。また、生徒へ指導を行う際には、一人で判断するのではなく、様々な教職員と相談し、家庭との連携をしながら丁寧に対応していきたいと思いました。

【学生等】

- ◆ 生徒指導は、今まである特定の生徒に対して特定の指導をするというイメージでしたが、「すべての生徒」に対して行うものであることを、再認識しました。また、指導においても、組織的に行うことが大切であり、常に生徒をよく観察し、教職員で情報共有しつつ、適切な指導ができるようにしていくことが大切であると感じました。

講話・研究協議「学級経営ってなあに？（小・中）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 吉原 健一



受講後の振り返りから

【現職】

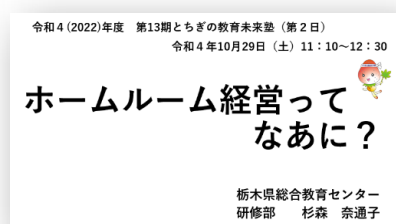
- ◆ 共に喜び合い励まし合いながら、高みを目指し進んでいく学級を作りたいという思いを強くすることができました。子ども達が安心して伸びやかに進んでいける学級をこれからも作っていきたいです。

【学生等】

- ◆ 学級経営については漠然とした知識や考えしか持ち合わせていなかったため、今回現職の先生方や、学生の皆さんとの意見交換を通して、学級経営に対する自分の見方や考え方を広げることができました。

講話・研究協議「ホームルーム経営ってなあに？（高・特）」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 杉森奈通子



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ ホームルームを経営する上で、集団を動かすことを意識しつつも、個人に焦点を当てることが、難しくも重要であると深く考えることができました。今後、指導にあたっては、目標やねらいの共有を行うとともに、個人の適性にあった役割を与え、全員が活躍できる場面を作っていけるよう工夫していきたいです。

【学生等】

- ◆ ホームルーム経営について詳しく学ぶ機会も少ないため、とても新鮮でした。清掃などの日常生活から始まり、その他多くの学校行事やホームルーム活動が、クラスへの帰属意識や社会規範を学んでいく場であることを、講話や現職の先生と協議する中で再認識することができました。